【にしふさ・こうじ】プロフィル・画歴

1960年 能登町黒川生まれ

1983 年 日本大学芸術学部卒業

2000年 昭和会展 日動火災賞

2001年 安田火災美術財団奨励賞展 秀作賞

前田寛治大賞展 大賞

石川県現代美術展 美術文化大賞

2002年 日本現代美術作家展(チェコ・プラハ)

日展 特選

2003年 日本現代画家 21 人展(上海・華氏画廊)

文化庁・新進芸術家派遣によりチェコ・プラハに

1年派遣

2004年 Art Prague 出品(プラハ)

2005年 損保ジャパン美術財団選抜奨励賞展

個展 SLOVAKILA NITRA 市立美術館

2006年 光風会 辻永記念賞

日展 特選

2007年 DOMANI・明日展・文化庁芸術家在外研修

2008 年 個展 (gallery9・チェコ)

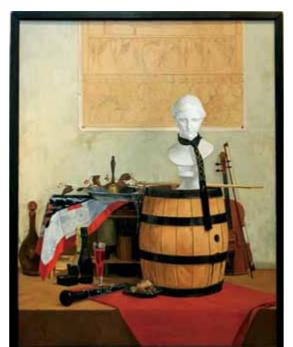
2009年 光風会 ミノルカ賞

2010年 光風会 文部科学大臣賞

日展審査員

現在 光風会評議員、日展会員、能美市在住





『宴の後』 1993 年作 柳田中学校蔵

房さんは、 評価されるようになった。 竜門として有名な「前田寛治大 る。2001年、 の選択。この時、教師を辞めて 応募した。 西房さんの作品は国内外で高く は日展で特選を受賞するなど、 賞展」で大賞を受賞。翌02年に けていた西房さんに転機が訪れ 「留学するか仕事を続けるか さらに上を目指した西 文化庁の留学制度に 若手画家の登

の賞や2度目の日展特選など、 その後も、所属する光風会 画家として独立する道を選ん

で感じてほしい

語る西房さん。

術館で開催されている。西房さ を言いたい」と思いを語る。 をしていきたいし、世話をして 活動が活性化するようお手伝い 能登町内で絵が好きな人たちの くれた文化協会の皆さんにお礼 特別展は12月4日まで町立美 その目

る洋画家の一人となった。 数々の賞を受賞。日本を代表す

「これまでの大作は静物画が

多かった。今後は大きな風景画 を描き、単純で奥深い絵をさら に追求していきたい」と抱負を 「今回の展示をきっかけに、

教員をしながら作家活動を続

接作品についての説明や質問に 11月18日には、西房さんが直



11月18日、町立美術館で開催された「西房浩二ギャ ラリートーク」には、町内外から約50人が参加。 作品を前に、制作エピソードなどが語られた。

地元初の本格的個展と

-V0I.58-

じがする絵」 きれいに見えるけれど、 「誰が見ても分かりやすくて 深い感

に込める思いを語る。 ん (51) =黒川出身=は、 査員を務めた洋画家西房浩二さ 町民文化祭の特別企画展とし 日展特選2回、 昨年の日展審

されるようになって2年目。 年は西房さんの作品24点が町立 美術館に展示された。 町出身芸術家の作品が紹介 今

に展示されるのは初めてだ。 の作品が、古里能登町で本格的 文化協会員が集めた。西房さん された作品や個人所有の作品を 校や役場などの公共施設に寄贈 後半から30代に描いたもの。

日本を代表する画家に

「画家になりたいという夢は

が西房さんの話に耳を傾けた。 開催。町内外から訪れた約50人 答える「ギャラリ

ーク」を

今回展示された作品は、20代

良い機会。展示が終わった後も、 「自分の作品を知ってもらう

好きだったという西房さん。大

幼少のころから絵を描くのが

っと持っていた」

学卒業後は美術教員として能登

若き日の作品を特別展示 クを開催